

## 5-1 東海地方の微小地震の分布 (1989年11月1日～1990年4月30日)

### Distribution of Microearthquakes in Tokai District (November 1, 1989 – April 30, 1990)

名古屋大学 理学部

School of Science, Nagoya University

前報<sup>1)</sup>に引き続いて1989年11月1日より1990年4月30日までの6カ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

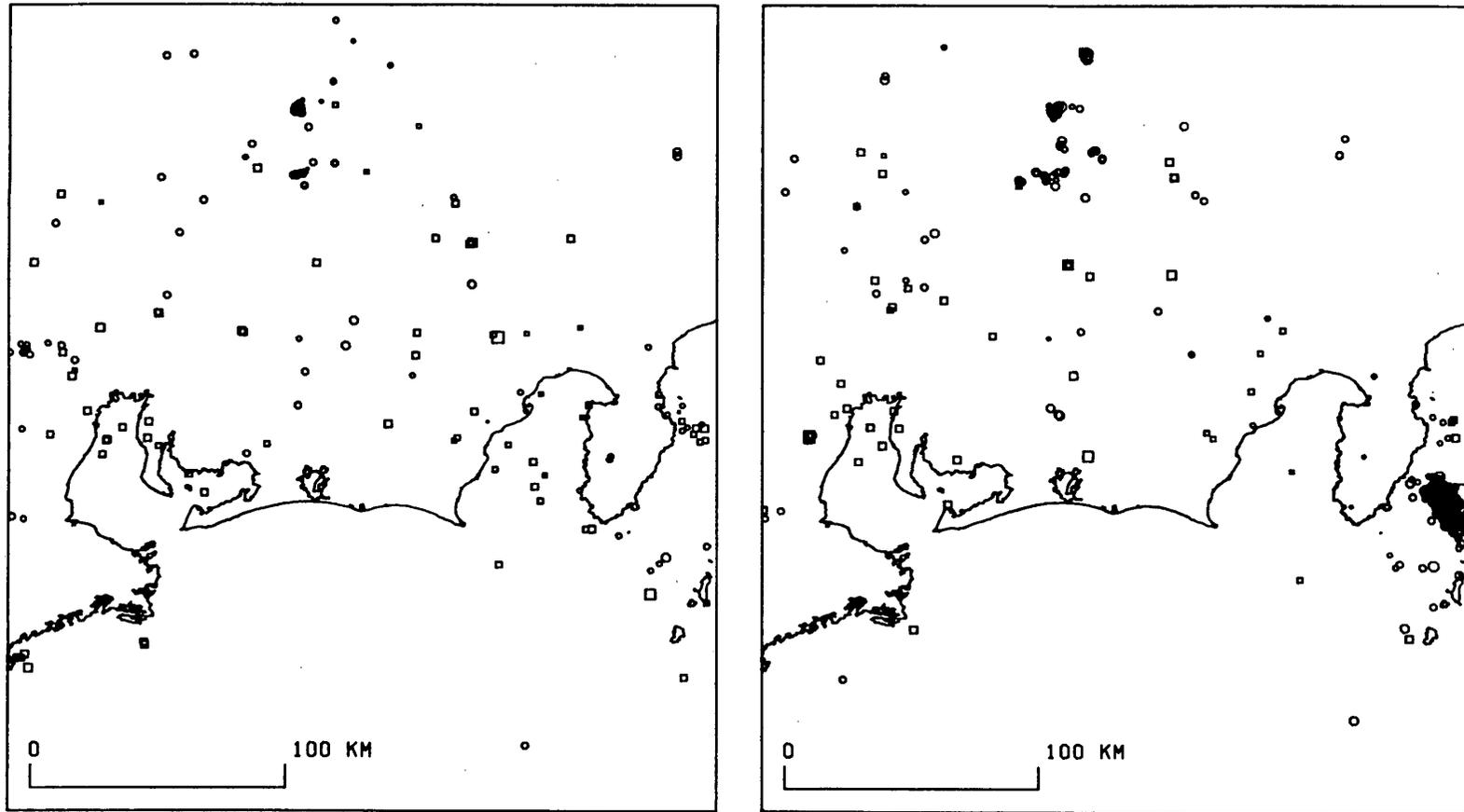
第1図は1990年4月30日までの6カ月間に名古屋大学理学部の地震テレメータ観測網によって観測された20km以浅に発生している震央を3カ月ずつの期間に分けて示したものである。第2図は同じ期間に20kmから80kmの間の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

- (1) 活動は定常的であるが、1990年4月13日13時01分にM4.4の地震が発生した。
- (2) 伊豆東方沖の地震活動は静穏であったが、1990年2月20日15時53分にM6.5の地震が発生し多くの余震を伴った。1990年3月以降は極めて静穏である。
- (3) 長野県西部では活動は低調になっているものの定常的な活動が続いている。
- (4) 1990年1月24日から乗鞍岳の南西地域において地震活動が活発になり、02時14分にはM4.4の地震が発生した。以後この地域の地震活動は引続き活発である。
- (5) 図には載っていないが、岐阜・富山県境付近では2月18日から群発地震活動が始まり03時15分のM4.9の地震等M4クラスの地震が5個発生した。3月以降は鎮静化している。

### 参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部：東海地方の微小地震の分布 (1989年5月1日～10月31日)，連絡会報，43，(1990)，355-357.



N = 170

DEPTH 0 10 20 KM      MAG. 1 2 3 4

○ □                      · ○ ○ ○

1989 11 1 - 1990 1 31

N = 437

DEPTH 0 10 20 KM      MAG. 1 2 3 4

○ □                      · ○ ○ ○

1990 2 1 - 1990 4 30

( NAGOYA UNIV )

第1図 微小地震の分布 (1989年11月1日~1990年4月30日) 震源の深さが20km以浅のもの

Fig. 1 Epicenter distribution of earthquakes (Nov. 1, 1989 - Apr. 30, 1990) shallower than 20 km.

